

蛭沢さんを一言で表現する事は難しいですが、あえて言うのであれば「行動の人」。講演で話される内容は全て実践から生まれた、もしくは実践に裏付けられた理論だからこそ、実践者に響く言葉になってるのだと感じました。

普段の謙虚な姿勢や言葉と違って、研修や講演で話される言葉は非常に「強さ」を感じます。それは蛭沢さんなりの現場に対する最大限の敬意ではないかと思えます。話される中で蛭沢さんは決して聞いている人を分類しません。経験がある人もそうでない人も、どんな立場の人であっても分け隔てなく考え方や意見を同列で扱い尊重してくれます。一点を除いて。それは「誰のため」がブレていなければの話。蛭沢さんの研修や講演は自分自身の行動を見つめ直す時間にもなると同時に、自分や他者を大切に思えるようになる時間でもあります。ぜひ一度、話を聞いてもらいたい。そして何より蛭沢さんの温かさを感じてもらえたらと思います。

一般社団法人愛知 PFS 協会

代表理事 星野智生